

研究拠点形成事業（A. 先端拠点形成型） マッチングファンドについて

研究拠点形成事業（A. 先端拠点形成型）採用課題については、相手国側拠点機関においてマッチングファンド（相手国側拠点機関に対する研究助成）が確保されている（会計年度による時期の不一致は問題となりません）ことが確認できた後に、本事業の実施となります。

1. 提出必要書類 ※採用された日本側拠点機関が本事業開始前の 3 月に提出する書類です。

- (1) 相手国マッチングファンド使用予定額（様式 1 参照）
- (2) 相手国コーディネーターによる、相手国と経費相互負担についての合意が得られていることを示す以下の書類（英文）（様式 2（サンプル）参照）

※ マッチングファンドの条件については、囲み部分を参照のこと。

※次の点を文書内に必ず明記すること。

- ① 当該交流課題の研究交流経費として獲得した助成金の金額（年額）
- ② 経費を受給する期間（年月日を含む）
- ③ 助成元
- ④ 助成金の名称（事業名）
- ⑤ 助成対象課題の名称
- ⑥ 申請番号／採用番号
- ⑦ 助成金に係る問い合わせ先
- ⑧ 相手国との経費分担方法（パターン 1 またはパターン 2 を選択）
- ⑨ 相手国コーディネーターによる署名

※相手国が複数の助成金をマッチングファンドとして使用する場合は、助成金ごとに①～⑦を列記すること。

マッチングファンドに関する条件

① マッチングファンドを必要とする交流相手国機関

全ての交流相手国拠点機関が、それぞれ当該研究交流課題実施に必要なマッチングファンドを独立的に確保して下さい。

協力機関はマッチングファンドを確保する必要はありません。ただし、当該国の拠点機関において協力機関所属研究者に係る交流経費を措置するなど、必要な交流経費が当該国全体として確保されていることが必要です。

② マッチングファンドの種類

本事業において日本側拠点に措置される交流経費と等しい用途費目をもつファンドが望ましいです。独立した交流経費が不可能な場合には、研究費の一部を、当該研究交流課題実施に係る研究交流経費として、マッチングファンドに充てることもできます。

③ マッチングファンドの金額

日本側と対等な交流を維持できる額とします。（日本側と同額である必要はありませんが、拠点間交流が可能な額が確保されていることが条件となります。）

④ マッチングファンドを必要とする期間

本事業実施期間中（5年以内）は、相手国側拠点機関においてもマッチングファンドが確保*されていなければなりません。（会計年度による時期の不一致は問題となりません）。複数年度にわたる長期的なファンドが望ましいですが、複数種の独立した助成金の組み合わせも可能です。なお、相手国側拠点機関におけるマッチングファンドが確保されなくなった場合、当該研究交流課題の採用を取り消し、業務委託契約を解除することもありますのでご注意ください。

*年度中に、相手国マッチングファンドが終了する場合には、残りの本事業実施期間のために確保した新たなマッチングファンドに係るマッチングファンド証明書を、終了する1ヶ月前を目途に振興会に提出してください。

2. 日程（予定）

10月4日（水）	申請受付締切	相手国拠点機関との事前交渉を明確に行い、相手国拠点機関のマッチングファンドの獲得見込みについて必要な情報を申請書に記入ください。
11月	書面審査	—
翌年1月	ヒアリング （国際事業委員会）	相手国拠点機関のマッチングファンドの獲得（見込み）状況について、最新情報を事前に入手ください。
2月中旬	採否通知	採用通知と共にマッチングファンド確認書類が送付されます。
3月上旬	マッチングファンドの 最終確認締切	マッチングファンド確認書類に、相手国拠点機関のマッチングファンドの獲得状況等を記入の上、提出ください。

3. 照会先

〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-3-1

独立行政法人 日本学術振興会

国際事業部 研究協力第一課 拠点交流係

電話：03-3263-2316/1791（ダイヤルイン）

※9:30～17:30（土曜日、日曜日、国民の休日を除きます）

Email：core-to-core@jsps.go.jp

研究拠点形成事業（A. 先端拠点形成型）
相手国マッチングファンド概要

相手国名		
相手国拠点機関名		
経費負担区分		
①	相手国側学術助成機関名	
	プログラム名	
	支給期間	20 . . . ~20 . . .
	金額（上記支給期間に支給される総額） [現地通貨] [. . .] （日本円換算額）（ . . . 円相当）	
②	相手国側学術助成機関名	
	プログラム名	
	支給期間	20 . . . ~20 . . .
	金額（上記支給期間に支給される総額） [現地通貨] [. . .] （日本円換算額）（ . . . 円相当）	

相手国名		
相手国拠点機関名		
経費負担区分		
①	相手国側学術助成機関名	
	プログラム名	
	支給期間	20 . . . ~20 . . .
	金額（上記支給期間に支給される総額） [現地通貨] [. . .] （日本円換算額）（ . . . 円相当）	
②	相手国側学術助成機関名	
	プログラム名	
	支給期間	20 . . . ~20 . . .
	金額（上記支給期間に支給される総額） [現地通貨] [. . .] （日本円換算額）（ . . . 円相当）	

※相手国が本事業のために使用するマッチングファンドについて、現地通貨での金額、及び日本円換算額を記入してください。

※経費負担区分については、研究拠点形成事業 平成30年度分 募集要項 別紙「研究拠点形成事業 経費の取扱いについて」3. 相手国との経費分担方法を参照の上、パターン1またはパターン2を記入してください。

※上記欄で足りない場合には、適宜行を追加して記入してください。

様式 2 (サンプル)

JSPS Core-to-Core Program on *(title of the research project)*

Dear Prof. (*Japanese Coordinator*),

This is to confirm that the (partner country) side's financial support for implementing the JSPS Core-to-Core Program on "(title of the project)" is as follows.

Institution (Core Institution/Cooperating Institution):

Approximate amount to be allocated to the project:

Funding duration:

Funding source:

Program:

Project title:

Project number:

Funding source reference (contact person, e-mail, etc)

Cost-sharing method (Please select one of the below options.)

[Pattern 1]

Sending side covers international airfare and costs of maintenance and, domestic travel in the counterpart country. The hosting side covers the cost of holding the seminars.

[Pattern 2]

The sending side covers international airfare and the receiving side covers maintenance and the domestic travel costs. The hosting side covers the cost of holding the seminars.

Prof. (*Coordinator or Cooperator in partner country*)

(*Affiliation*)

(*Core institution or Cooperating institution*)